

松波小学校だより

第1号
令和4年4月26日
能登町立松波小学校

新しい季節

学校の新しい年が始まりました。昨年3月には、13名の六年生が松波小学校を巣立っていき寂しい思いをしていましたが、4月5日には、新たに18名の新生が入学してくれました。一年生は、一日一日学校生活に慣れ親しんでいっています。職員室へ入室する際も「しつれいします。～をしに来ました。」と大きな声で言って、職員室在室の教職員から「大きい声ですね。」「上手に言えたね。」などの褒め言葉をもらっています。

六年生も、最高学年であり学校の顔として動いてくれています。一年生を歓迎する「なかよし集会」の運営に当たり、うまくできたことやうまくできなかったことを通してリーダーとして成長していってこれればと願っています。

春は出会いの季節です。新しい人、もの、ことに会う季節です。自然環境も桜やチューリップなどの花が一斉に咲き、日差しもまぶしく、気持ちが明るくなり新しいことに挑戦しやすい季節です。この季節の力を借りて、新しいこと、今までできなかったことに進んで挑戦してみましようという気持ちで声をかけています。また、児童だけでなく私たち教職員もいろいろなことに挑戦して、一歩前へ進んでいきたいと思っています。

私も毎朝、児童玄関に立ち、児童一人一人とあいさつを交わし、顔を見て一声かけることを続けることを目標にして、実践に励んでいます。



コロナウイルス感染症の収束はまだまだ見えない現状ですが、その中で何ができるか、できることを精一杯しているかという気持ちで日々を過ごしていきます。

今年度もどうぞご協力とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和4年4月
松波小学校 校長 前田 稔子